

月刊 やちまなこ

2023. 2.15 発行

No.303

2月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより

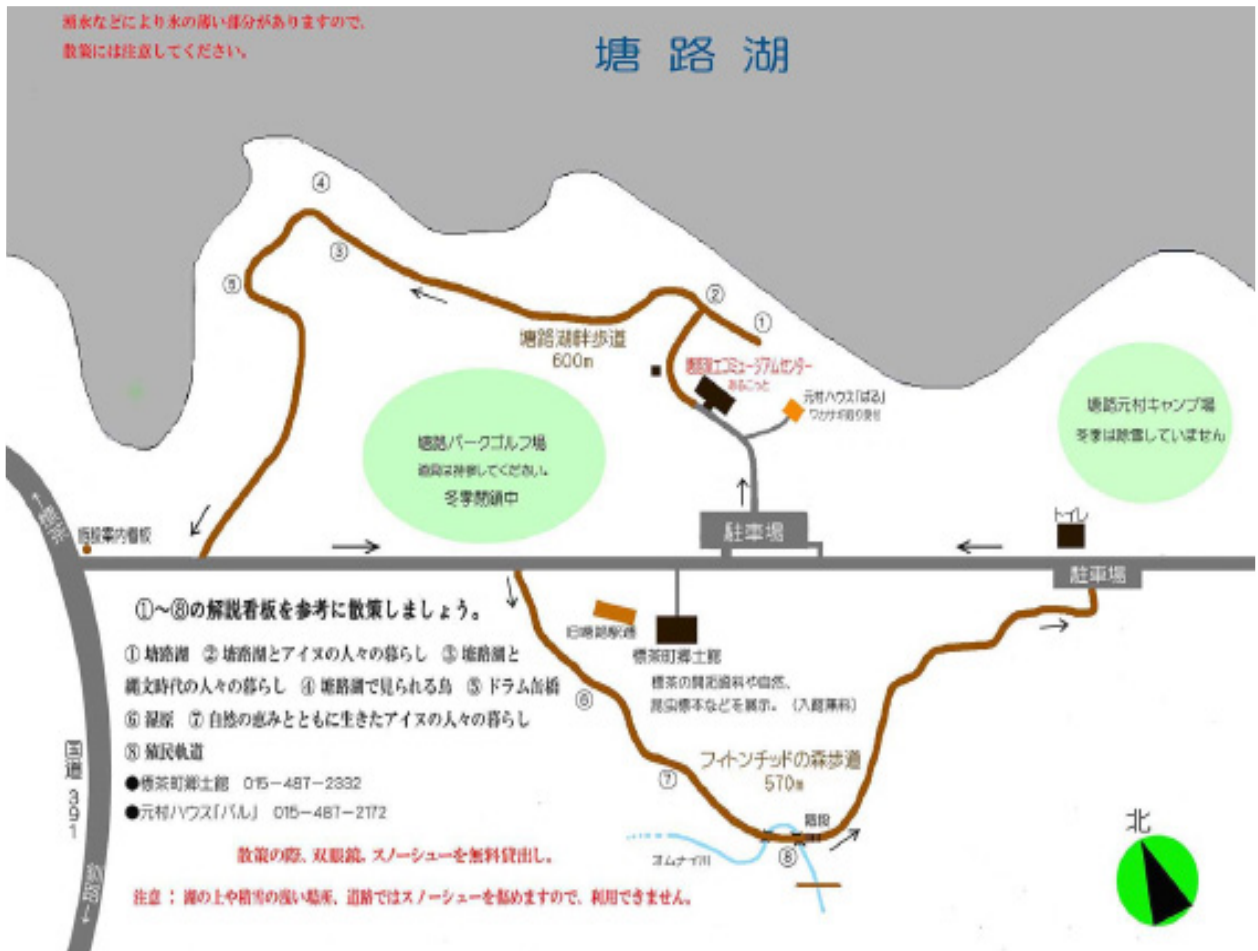


画像提供：佐藤 光則

SL 冬の湿原号

1月下旬 厳冬の釧路湿原を、SL 冬の湿原号が運行を始めた。ゆっくりと壮大に煙を立てながら進むSLの姿は、現在、道内では、ここだけで見られる冬の風物詩だ。

JR 釧網線沿いにある、展望台や踏切、駅では、多くの鉄道カメラマンたちが競って三脚を立てて待ち構えていた。



塘路フィールドノート【1/15～2/14】

【野鳥】

厳冬期は野鳥にとっては寒さだけではなく食べるものも少ない厳しい季節。そんな中、誰に教わったでもなく温泉水の流れ込みに集まったり、目に見えない樹皮下の昆虫を探し当てたりして強かに生きている。



流れ込みの水鳥（シラルトロ湖冷泉橋）
凍結した湖でも温泉水の流れ込みは水鳥達の楽園。左からオオハクチョウ、ダイサギ、アオサギ、マガモ。



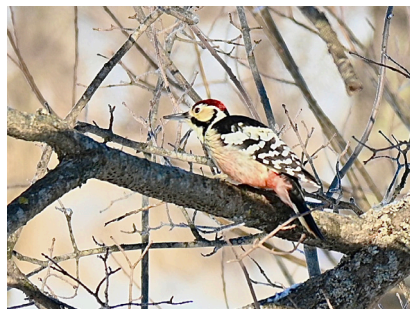
クマゲラ（コッタロ湿原）
キョイーンという特徴的な声で鳴く。この個体は雌で、樹皮下の虫を探していた。



タンチョウ（シラルトロ湖）
茅沼の給餌が終わると、シラルトロ湖の流入解氷部に移動する。ツル科。



コミズク（釧路湿原）
冬の草原環境に渡ってくる、フクロウの仲間。野鼠などを狩るために夕刻に舞う。



エゾオオアカゲラ（コッタロ湿原）
エゾアカゲラより大型で雄の頭部の赤色が目立つ。この個体は雄。キツツキ科。



オオワシ（塘路湖畔）
エゾシカの残渣を食べに集まっていた。冬にしか会えない渡りのワシ。タカ科。



エゾフクロウ（釧路湿原）

夜行性なので、昼間は樹の洞で寝て過ごす。滅多に動かないので、見つけるのが難しい。



キクイタダキ（塘路湖畔）

カラマツの実をつついていた。「ツツツツ」という特徴的な声を出す、非常に小さな鳥。



キタキバシリ（釧路湿原）

樹の幹を垂直に登るため、小さな体には不釣り合いな鋭い爪を持つ。キバシリ科。

【動物】

冬は動物たちにとっても寒く厳しい季節。毛足の長い冬毛に身を包むが、雪下に隠れた物を踏んで、思いもよらない怪我をするものもいる。雪原の足跡は食べ物を探して歩く動物たちの生活史を、そのまま現わしている。



エゾシカ（塘路湖畔）

センター近くのヤチダモ林で、左足を怪我した仲間をいたわるように付き添っていた。



キタキツネ（クチョロ線）

夏毛と違い、ふわっとした印象の冬毛は、とても暖かそう。



野ネズミの足跡（釧路湿原）

二つの足跡の間に細い尻尾の跡が残るのが特徴。冬も懸命に餌を探して歩きまわる。

◎ 厳冬期の氷上トレッキングを楽しみました。

2月4日は、厳冬のシラルトロ湖にて自然観察会を実施しました。

厳冬期のシラルトロ湖氷上をスノーシューでトレッキングしながら野鳥や遺跡観察、SLウォッチングを楽しみました。気温-7℃、快晴、無風。

前半は自然情報館を出発し、シラルトロ湖を左側に見ながら野鳥観察をしたが、鳥の姿や鳴き声が乏しい状況であったため、氷上のスノーシューをメインとして早めに湖上へ降りることにしました。炭焼き小屋の遺構であった窪地を通してシラルトロ湖へ降り立ち、雲一つない天気と一面の銀世界を歩くことで夏シーズンには不可能な絶景を楽しみました。

陸へ戻った後半は、休憩をはさみながら釧網本線の鉄路を見ながら歩き、森の中では、シジュウカラ、ハシブトガラ、キタキバシリを確認。終盤にはエゾアカゲラが線路脇の樹木を移動する姿を観察できました。駐車場に戻り後片付けをし終えると、ちょうどSL冬の湿原号の通過時刻となり、蒸気機関車の撮影でイベントを締める形となりました。

参加者 10名



○塘路湖畔で見つけた氷の造形 2023 冬

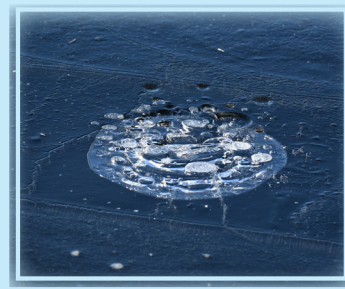
今年も御神渡りは起こりませんでしたが、小さな氷の造形が湖岸の風景を楽しませてくれました。



フロストフラワー



岸際のせり上がり



アイスバブル

3月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

塘路フィールドウォッチング～晩冬編～

[日 時] 3月4日(土) 10時～12時

[定員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター周辺

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

温根内の歴史を探訪しよう

[日 時] 3月19日(日) 10時～12時

[定員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで
(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 1/15(6:50,16:13). 1/31(6:38,16:33). 2/14(6:21,16:52)

～編集後記～

■氷の上ではしばしば奇跡が起こる。2014年冬季オリンピックフィギュアスケートに出場した羽生結弦選手のショートプログラムに使った曲「パリの散歩道」は北アイルランド出身のロックギタリスト、ゲイリー・ムーア(1952-2011)の演奏によるもの。羽生選手が団体男子ショートプログラムで当時の世界最高点をたたき出したその日は、ゲイリー・ムーアの命日だった。ところ変わって氷上の塘路湖である。ここ数年の御神渡り不発は常態化する危機感がある。今後、御神渡りが発生したならばそれは「奇跡」となってしまうのか。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004
E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram [torokoemc](https://www.instagram.com/torokoemc)

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日
入館無料